

令和2年度事業計画

平成から令和へと新時代を迎えた昨年は、改元に伴う5月の大型連休が10連休となり、旅行業や観光業に好影響をもたらした一方で、台風や大雨による災害が全国的に発生した年でした。とりわけ昨年10月の台風19号は、長野市周辺地域をはじめ、県内の観光に大きな打撃を与えました。

松本地域の観光は、4月から6月まで開催された「信州花フェスタ2019」では、目標を上回る70万人の来場があったほか、J1リーグを戦った松本山雅FCのホームゲームには多くのアウェーサポーターが松本を訪れました。当協会が10周年記念事業として、アウェーサポーターに配布した松本城の無料招待券は1,952人の利用があり、市街地の回遊性の向上や宿泊等による経済効果に寄与しました。信州まつもと空港の利用促進では、就航2年目を迎えた札幌（丘珠）線の運航期間が初年度（平成30年度）の24日間から75日間と大幅に増え、利用者が増加するとともに、利用率も65.7%と初年度を0.6%上回りました。10月には関西方面と結ぶ神戸線が定期便として就航し、神戸関係機関と双方の利用促進に向けた取組みや交流が進んでいます。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による観光・経済への影響が大きく懸念されますが、動向を見極めつつ、観光客の安全等に関わる情報を会員の皆様と共有し、安全・安心の観光地づくりに努めます。本年7月からの東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い増加が見込まれるインバウンド観光客の来訪を促すとともに、FDA神戸線やJAL大阪線による関西方面からの誘客、令和元年度に国宝指定された旧開智学校校舎と松本城との2つの国宝の相乗効果を図るPRや、経済効果の高いコンベンションの誘致により、国内旅行の掘り起こしやリピーター確保に向けた施策に取り組めます。

令和の時代を迎え、観光客の国際化、旅行者ニーズの多様化が加速する市場の動向等に迅速に対応し、松本市観光ビジョンが目指す「国際観光都市」「山岳観光都市」「文化観光都市」の実現に向けて、着実に事業を進めてまいります。

【国内誘客宣伝事業】

- ・ FDA神戸線の就航を誘客拡大の好機と捉え、関西方面における営業・宣伝活動を積極的に展開します。また、従前の就航先都市への営業・宣伝活動についても、継続的に実施し、信州まつもと空港を活用した観光誘客に、引き続き取り組めます。
- ・ 北陸・飛騨・信州3つ星街道観光協議会をはじめ、県内外の都市との連携を深め、広域観光ルートの魅力発信に取り組めます。
- ・ 関東や中京等大都市圏への誘客営業を強化し、松本の観光資源を生かしたツアー造成の提案を行うとともに、旅行者ニーズの把握に努めます。
- ・ 冬期イベントのPRを図るとともに、交通事業者や観光事業者等と連携した、白馬大町方面等からの誘客による、冬の観光客増加に取り組めます。

【海外誘客宣伝事業】

- ・ JNTO（日本政府観光局）や長野県観光機構、県内の自治体（長野市・軽井沢町等）

と連携し、欧米豪、東南アジア・中国からの誘客を図ります。とりわけ、重点マーケットとなる欧米市場（カナダをはじめ北米・欧州）の営業に取り組みます。

- ・ 東南アジア市場においては、引き続き、シンガポール、タイ・バンコク、台湾を重点に、ターゲットを絞り、営業を進めます。
- ・ 修学旅行マーケットでは、海外の教育旅行専門の旅行会社と連携を深め、松本滞在時の支援体制の強化を図り誘客に努めるとともに、オーストラリアからの修学旅行の受入れを継続して実施します。
- ・ スポーツコミッションと連携し、サイクリングイベント、マラソン等のスポーツイベントを通じた海外誘客に努めます。2022年北京冬季オリンピックでスキーへの関心が高まる中国からは、長野県観光機構と連携し、乗鞍・野麦峠両スキー場に、技術向上を目的とした幅広い層の団体ツアー等の獲得を目指します。

【コンベンション事業】

- ・ 新規開催者獲得のための営業を強化し、松本の魅力をさらにPRしながら受入れを支援します。
- ・ コンベンション支援の強化を図るため、県・市へ支援制度の一層の拡充を働きかけます。
- ・ キッセイ文化ホールをはじめとする市内コンベンション施設の改修予定がある中、主催者のニーズに沿った調整業務等を行います。

【スポーツコミッション事業】

- ・ スポーツ大会の誘致と松本の自然環境を生かしたスポーツイベントの企画運営に力を入れて取り組みます。
- ・ 春、秋にウォーキングイベントを開催し、市民の健康増進や地域再発見に寄与するとともに、市外・県外からの参加を得て、交流人口を増やす企画運営を実施します。
- ・ サイクリング熱の高まりに応じて松本ヒルクライムレース（美ヶ原・乗鞍）、アルプスあづみのセンチュリーライド（桜・緑）等、サイクルツーリズムの拠点となるべく、国内のみならずインバウンド担当と連携して海外誘客に取り組みます。
- ・ 松本マラソンや米かつぎマラソン等のランニングイベントへの誘客を図ります。

【ロケ誘致支援事業】

- ・ 松本市の経済活性化や市民文化の向上等を目的に、映画、テレビドラマ、CM、ネット配信動画・写真撮影等のロケーション撮影を誘致、支援します。
- ・ ロケ地マップの作成やロケ地情報をインターネットで公開し、撮影された作品を活用した松本の魅力発信と誘客宣伝に取り組みます。

I 国内誘客宣伝事業

1 首都圏・中京圏営業

(1) 首都圏・中京圏での営業強化

多くの人口を抱え、松本への来訪が最も多い関東方面や中京方面への営業を強化するとともに、東京オリンピック開催にあわせて来訪するインバウンド観光客の誘致に取り組みます。

(2) 観光庁・県主催の観光説明会

大都市圏での観光説明会や旅行会社との商品造成商談会へ会員とともに参加し、旅行商品の造成促進や、学習旅行の誘致に取り組みます。

(3) 姉妹都市藤沢市と連携した観光PR

利便性が向上した圏央道を生かし、姉妹都市藤沢市との観光交流や連携した観光PRを実施し、湘南地域からの誘客活動を進めます。

2 3つ星街道を活用した誘客

北陸・飛騨・信州3つ星街道観光協議会での誘客促進を図り、合同商談会等に参加するなど、協議会構成団体のスケールメリットを生かし、広域周遊ルートとしての3つ星街道の認知度向上や松本市への誘客を促進します。

3 就航先都市誘客促進事業（受託事業）

信州まつもと空港の就航先都市（福岡、札幌、大阪、神戸）並びに文化・観光交流都市である鹿児島において、長野県及び信州まつもと空港地元利用促進協議会と連携し、信州まつもと空港を活用した、松本市内への観光誘客を図ります。

また、新たに神戸線が就航したことから、関西方面における営業・宣伝活動を強化し、年間を通じた誘客促進に、積極的に取り組みます。

(1) 観光説明会（観光キャラバン）の開催（福岡・札幌）

旅行会社を対象とした観光説明会及び商談会の開催

(2) 就航先営業

ア 福岡営業 (年2回程度)

イ 鹿児島営業 (年2回程度)

ウ 札幌営業 (年4回程度)

エ 大阪・神戸営業 (年6回程度)

(3) 助成事業

ア 広告作成費助成金

信州まつもと空港発着定期便を利用し、当協会加盟の旅館・ホテル等への宿泊を含む旅行商品を造成し、広報した旅行会社に対する助成

(ア) 助成内容 1件当たり 100,000円

(イ) 助成対象期間 4月1日～3月31日

イ 空港利用送客助成金

信州まつもと空港発着定期便を利用し、当協会加盟の旅館・ホテル等への宿泊を含む旅行商品を造成し、販売した旅行会社に対する利用実績に応じた助成

(ア) 助成内容 片道 1,500 円、往復 3,000 円
(季節便は片道 2,500 円、往復 5,000 円)

(イ) 助成対象期間 4月1日～6月30日、11月1日～3月31日
(季節便は運航期間中を対象とします。)

ウ 空港利用レンタカー利用助成

信州まつもと空港到着の定期便を利用し、レンタカーを含む旅行商品を販売した旅行代理店及びレンタカーを貸し出した当協会会員に対する利用実績に応じた助成

(ア) 助成内容 片道 2,500 円、往復 5,000 円

(イ) 助成対象期間 4月1日～3月31日

(4) 広告宣伝

就航先都市のメディアやF D A機内誌等を活用した、誘客宣伝事業を実施します。季節運航便であるJ A L大阪線、F D A札幌(丘珠)線、及び新規開設されたF D A神戸線の知名度・認知度向上につながるP Rを重点的に行います。

(5) 福岡営業所の運営

現地の旅行会社に業務委託し、福岡営業所を開設し、九州全体への営業活動を行うほか、松本市内宿泊関係者等の営業を支援します。(委託先：㈱ツアーアラカルト)

4 信州まつもと空港利用促進事業(受託事業)

複便化したF D A福岡線の利用を促進し、九州全域からの誘客促進を図るため、九州(福岡・鹿児島)のメディア(ラジオ番組)を活用した、信州や松本の観光P Rを行います。併せて、番組内でリスナー参加型の旅行を企画し、福岡空港発着のツアーを実施します。

5 観光宣伝事業(受託事業)

(1) 海と山との交歓事業

神奈川県藤沢市と松本市の市民(公募)が互いの市を訪問し、観光や地元イベントへの参加を通して姉妹都市交流を図ります。令和2年度は交歓会事業60周年のため、交流会にあわせ記念行事を実施します。

(2) 印刷物作成事業

観光パンフレット等を作成し、観光・物産イベントで使用するほか、市内観光案内所、銀座NAGANO、県観光情報センター(大阪、名古屋)等で配布します。

観光情報の入手方法がインターネットやスマートフォンの普及により変化する中で、時流にあった活用できる観光パンフレットのあり方を研究し、内容等の見直しを実施します。

作成パンフレット名（予定）	印刷予定部数
通年型総合パンフレット（イベントガイド付属）	130,000部
街歩きマップ	270,000部
上高地散策マップ	130,000部
美ヶ原散策マップ	40,000部
まつもと水巡り	40,000部
国宝 松本城	40,000部

(3) 広告宣伝事業

各種メディアを通して、城下町から山岳観光、温泉など、松本の多彩で魅力的な素材やイベント情報等を発信し、誘客につながる効果的な宣伝を行います。

(4) 松本山雅関連事業

アルウィンでの試合に訪れた対戦チームサポーターを歓迎するため、アウェーゲートに対戦チームのエンブレムをデザインしたのぼり旗の設置、J R松本駅改札口への歓迎看板の掲出を継続します。

(5) 県内都市連携事業

「松本上田直行バス」の利用促進PRを上田市と連携し行います。

6 観光インフォメーションセンター事業

J R東京駅 日本橋口 丸の内トラストシティ内の観光インフォメーションセンター「T I C T O K Y O」（TOURIST INFORMATION CENTER）で、協会専用のパンフレットラック（A4サイズ20ラック）を常時配置し、観光パンフレットを配布するとともに、T I C東京のホームページ「にっぽんナビ」でイベント情報等を発信します。

7 観光宣伝素材整備事業

魅力ある観光資源を生かしたポスター、観光グッズ等を作製し、誘客宣伝で活用します。

8 松本の宿発信事業

- (1) 松本市内全エリアを網羅した宿泊ガイド「松本の宿」の作成
- (2) 「松本の宿」Web版の作成

9 山岳観光プロモーション事業

松本市の西部山岳エリアの観光誘客を目的とし、主に安曇・奈川地区の観光宣伝に特化した情報発信事業や調査事業を、地域DMOとなった（一社）松本市アルプス山岳郷と連携し実施します。

※DMO…地域づくり法人（Destination Management/Marketing Organization）

日本版DMOは観光庁に申請し、事業内容等の確認を受け登録となる制度

II 海外誘客宣伝事業

1 誘客強化事業

(1) 欧米市場営業

ア 一般観光誘客

国宝松本城や旧開智学校、文化、芸術、自然、スポーツなど、多彩な松本の魅力をWEBや営業活動で発信します。国内の欧米系ランドオペレーターへの営業を引き続き積極的に行うとともに、欧米からの誘客を強化する長野県観光機構とともに、JNTO主催の現地商談会に参加し、エージェントに直接営業することにより、松本への誘客を図ります。

イ カナダ(北米)との関係強化

昨年度、カナダ・ウィスラーの姉妹都市である軽井沢町と共に取り組んだ北米への誘客活動を更に前進させるため、食材やクラフトビールなど、松本とカナダの共通点をテーマに、カナダ大使館等を通して、松本の魅力の情報発信を行います。

ウ 欧州内での情報発信

JNTOの現地事務所を通して松本の情報発信を行うとともに、松本への関心を示した現地エージェントには直接連絡するなど、誘客を促します。

(2) 東南アジア市場営業

ア 一般観光

タイ・バンコクで更なる誘客を図るため、FIT向け旅行博(BtoC)に出展し、FIT旅行で松本を楽しむための具体的な情報を直接発信します。また、長野県観光機構と現地で合同営業を行い、松本を中心とした県内広域をPRし、誘客の相乗効果を図ります。 ※BtoC(Business to Consumer) = 企業と消費者との取引

イ タイ・バンコクにおけるメディアを活用したプロモーション

バンコクの広告代理店を活用し、タイ人が好む乗鞍大雪溪の夏の雪を中心に、フェイスブック等のSNSやフリーペーパーを利用して情報を発信します。

ウ その他の市場(マレーシアなど)

長野県観光機構等と連携し松本エリアへの誘客活動を行います。

2 教育旅行誘客

オーストラリアの教育旅行を専門に取扱う旅行会社及び国内のランドオペレーターへの営業、情報発信を強化し、学校交流の受入態勢を整え、他地区からの松本へのシフトに努めます。また、才能教育研究会、楽都・まつもとライブ等の協力を得て、音楽交流のできる街「楽都・松本」を印象付けます。

3 スポーツを通じたインバウンド誘客

スポーツコミッションとも連携し、台湾のスポーツ系ランドオペレーターやエージ

ェント（マラソン、サイクリング）に対して、松本が日本でのサイクリングのパラダイスであるとの情報発信等を行い、誘客に取り組みます。また現地のスポーツイベントで松本のスポーツイベントを紹介し、参加を促す誘客活動を行います。

4 スキーインバウンドへの対応

2022年北京冬季オリンピックでスキーへの機運が高まる中国において、ウインタースポーツ関連の競技団体が長野県内での強化プログラムを検討しています。その動きに対応すべく、乗鞍高原・野麦峠スキー場の関係者、長野県観光機構やJNTOと連携し誘客に取り組みます。また北京・大連・上海等で開催されるウインタースポーツ関連の旅行博・イベントへ出展し、強化指定されている団体などの誘致を行います。

更に、冬季は白馬地域へ来訪するスキーヤーの松本への周遊について、白馬地域の事業者・団体とも連携し取組みを進めます。

5 FAMトリップ（視察旅行・取材旅行）及び教育旅行、VIP客受入支援事業

インバウンドツアーの企画造成や、松本の魅力を現地で発信してもらう事を目的として、エージェント、メディア、団体・組織のキーパーソン、学校教育関係者等の視察・取材を支援するFAMトリップを、積極的に受け入れます。特に、伝統文化体験（侍体験、侍太鼓体験、きもの着付けとお点前体験等）を紹介し、一般観光の先を求める旅行者に対する情報を提供します。

※FAMトリップ（Fam Familiarization）…観光地への誘致促進のため、旅行事業者やブロガー、メディアなどに現地を視察してもらうツアー

6 留学生応援事業

松本市内の学校に通う留学生に対し、将来の“松本インバウンド親善観光大使”となるよう、松本留学生応援ファミリー会、信州大学グローバル教育推進センター、松本大学、丸の内ビジネス専門学校等と連携し、学生たちの支援と交流を深めます。

Ⅲ 地元誘客・受入整備事業

1 誘客宣伝支援事業

市内各地域の魅力を最大限に生かし、市内で実施するイベントなどに協力しながら、観光客の受入体制の充実を図ります。

(1) 地域の魅力発信事業

協会加盟の観光団体が、地域特性を生かしながら取り組む誘客宣伝事業やイベント事業のうち、松本市への誘客及び経済効果の高い事業に対して、誘客宣伝事業支援金を交付します。

ア 対象事業費の2分の1、上限30万円

イ 年間10企画を予定

(2) 観光関連イベント発信事業

美ヶ原直行バスの利用促進宣伝や、市内で開催されるイベント等と連携し、松本の魅力発信に努めます。

2 受入整備事業

会員等、観光事業者の育成に関する研修や、松本のおもてなし向上を目指した事業を実施します。

3 松本市観光案内所管理運営事業（受託事業）

松本市観光案内所（松本駅構内）と松本市観光情報センター（松本市役所大手事務所内）において、窓口・電話・メール等による観光案内、パンフレットの発送等を行います。両案内所とも外国人観光客の案内が可能な「ビジット・ジャパン案内所(通称：V案内所)」として、積極的に外国人観光客に対応します。

4 観光ボランティア運営事業（受託事業）

観光客の要望に応じて、市街地の見所を松本まちなか観光ボランティアガイドが案内します。また、各種研修を通じて技術の向上に努めるとともに、ボランティアガイドが自主的に活動できる体制の整備を行います。

5 外国人旅行者体験拡充事業（受託事業）

外国人旅行者に、松本ならではの魅力や価値を知ってもらうため、城下町の伝統文化を体験する場を提供し、来訪の促進と滞在時間延長による消費の拡大を図ります。

中町・蔵シック館を拠点に、伝統工芸体験、着物着付け、華道、書道等の日本文化に親しむ体験プログラムを提供します。

6 善光寺御開帳奉賛会への参画

令和3年4月4日から5月30日まで開催される善光寺御開帳に伴い、善光寺御開帳奉賛会（事務局：長野商工会議所）に参画し、参拝客の周遊等による松本への経済波及効果をもたらす取組みを進めます。

IV コンベンション事業

1 誘致事業

国内外、規模の大小・ジャンルなどにとらわれないコンベンションの誘致を目指します。また、情報の入手状況に合わせ、スピード感を持って積極的に誘致を図るとともに、中長期を見据えた誘致事業を実施します。

(1) I M E（国際M I C E エキスポ）出展事業

日本で唯一のテーブルトップ方式による商談会を行うコンベンショントレードショー「I M E 2021」に参加し、松本市のコンベンション環境をPRするとともに、

大会主催者との商談を通して大会誘致を促進します。

(2) 地方都市コンベンション協議会事業

競合しない5地区（新潟、びわこ、高松、和歌山、松本）のコンベンション推進機関が連携して、各都市への大会誘致を図ります。

ア 主に都内のコンベンション主催者を対象に、プレゼンテーション、意見交換会などを開催します。

イ 学会の連合組織が主催するシンポジウムに合同ブースを出展します。

(3) 海外キーパーソン招請事業

JNTOなどが実施する海外キーパーソン招請事業に積極的に参加します。

(4) コンベンション誘致促進事業

ア 誘致宣伝ツール作成事業

コンベンション施設や交通アクセス、アフターコンベンション等、大会主催者が必要とする情報を分かりやすく紹介したツールを作成し、誘致と支援に役立てます。

イ 移動用バス支援事業

コンベンション施設及び宿泊施設の移動に伴うバス運行サービスを実施します。特に、コンベンションの実績が落ちる冬期（12月～3月）の支援強化策として、支援するバスの台数の上限を拡大して誘致の強化を図ります。

4月～10月 1大会(上限2台)、11月～3月 1大会(上限5台)

ウ 主催者下見支援事業

松本市内でのコンベンション開催決定にあたり、主催者が会議施設、宿泊施設、パーティー会場などの下見にかかる費用を支援します。（2人分まで、1人あたり5万円を上限）

(5) プレゼンテーション・商談会参加事業

JNTOをはじめとしたコンベンション推進団体が主催する会議主催者を対象とした事業（プレゼンテーション、商談会等）に参加し、誘致を図ります。

(6) セールス活動事業

ア 組織内外のコネクション及び調査事業で収集した情報を最大限活用し、コンベンション開催に向けた営業活動を強化するとともに、学会等の事務局の誘致にも取り組みます。

イ 過去の営業活動などにより蓄積してきた大会情報データを随時更新するとともに有効活用して大会誘致に繋がります。（5地区コンベンション協議会の情報共有システムを利用）

ウ 2027年に開催予定の国体に向け、各競技団体がプレ大会として開催する全国大会の誘致について営業を強化します。

(7) 関係機関連携事業

JNTO、JCCB、中部コンベンション連絡協議会など関係機関との連携を図り、コンベンションに関する情報を収集し、誘致促進を図ります。

※JCCB（ジェイシービー Japan Congress Convention Bureau）

(8) 研修事業

J N T O等が開催するスキルアップセミナーなどに参加し、職員の資質向上を図ります。

2 支援事業

主催者に対して、大会の開催をサポートします。参加者を街全体でホスピタリティを持って迎え、松本の魅力を伝えることで、「松本市でもう一度大会を開催したい」「また訪れたい」と感じてもらえるような支援活動を実施します。

(1) 大会主催者への支援事業

ア 開催計画・準備から大会終了後まで、主催者にとって最適なかたちで事業ができるような支援の実施

イ 「松本市コンベンション開催促進事業補助金」の申請手続きの支援

ウ 長野県M I C E支援補助金申請に伴う県担当部局との調整

(2) 大会参加者への支援事業

ア 観光文化施設入場券（日本語版・英語版）の発行

イ 手提げ袋（コングレスバッグ）、スポーツイベント用ビニール袋の作製と配布

ウ 松本市内案内出版物（松本周辺案内）の作成と配布

エ 会議開催のトップシーズンに期間限定した飲食店ガイドマップの発行

オ 各種パンフレット作成への協賛と配布

(3) 大会歓迎事業

ア J R松本駅東西自由通路（お城口）への歓迎看板の掲出

イ 市内協力飲食店、土産品店、コンベンション施設、宿泊施設、観光文化施設への歓迎ポスターの掲出

ウ 大会参加者に歓迎が伝わる記念品の製作と配布（「松本の水」等）

エ 松本ならではのおもてなしによる歓迎支援

(ア) レセプションにおける松本らしいアトラクションへの補助

(イ) 地酒コーナー、バーコーナーの設営補助

(ウ) 甲冑、法被（特に国際会議）の貸し出し等

オ 会議用備品の貸し出しサービス（プロジェクター、スクリーン等）

カ 大型コンベンションの支援

参加者1,000名以上のコンベンションへの参加者を歓迎する事業の実施

キ インセンティブツアーに対する支援

国内外からのインセンティブツアーに対し、参加者へのおもてなしとしてのギブアウェイ等

(4) 大会告知事業

会報の発行及び「コンベンション開催情報」の発行による大会告知。情報は協会ホームページにも掲載

令和2年度以降に開催予定の主なコンベンション

※特記される大会。
※連続2年以上継続支援している大会を除く。

名 称	開催日	会 場	参加者数
RubyKaigi2020	令和2年 4月8日 ~ 4月11日	まつもと市民芸術館	1,200
日本区域麻酔学会第7回学術集会	令和2年 4月17日 ~ 4月18日	まつもと市民芸術館	1,000
第48回日本小児神経外科学会	令和2年 6月4日 ~ 6月6日	ホテルブエナビスタ	300
第5回国際心血管薬物療法学会日本部会	令和2年 6月20日 ~ 6月21日	ホテルブエナビスタ	200
日本情報科学教育学会 第13回全国大会	令和2年 7月4日 ~ 7月5日	松本大学	150
第69回全国作文教育研究大会	令和2年 8月2日 ~ 8月4日	Mウイング 松商学園高等学校	350
日本生物教育会	令和2年 8月7日 ~ 8月11日	松本大学	400
大気環境学会	令和2年 9月15日 ~ 9月18日	キッセイ文化ホール 松本市総合体育館	500
第143回日本薬理学会関東部会	令和2年 10月24日	信州大学医学部	160
日本歯科放射線学会第25回臨床画像大会	令和2年 10月31日 ~ 11月1日	アルピコプラザホテル	150
日本基礎老化学会シンポジウム	令和2年 11月6日 ~ 11月8日	信毎メディアガーデン	250
第56回全日本菊花連盟全国大会	令和2年 11月9日 ~ 11月12日	松本市総合体育館	200
第43回日本小児遺伝学会学術集会	令和3年 1月8日 ~ 1月9日	まつもと市民芸術館	400
第50回日本心脈管作動物質学会	令和3年 2月12日 ~ 2月13日	信州大学医学部	150
日本産業衛生学会	令和3年 5月18日 ~ 5月22日	まつもと市民芸術館ほか	3,000
第35回日本小児ストーマ・排泄・創傷管理研究会	令和3年 6月25日 ~ 6月26日	まつもと市民芸術館	250
International Federation of Automatic Control Symposium on Robot Control 2021	令和3年 8月30日 ~ 9月2日	Mウイング	350
令和3年度近畿・北陸・東海3地区監査都市共催研修会	令和3年 11月11日 ~ 11月12日	まつもと市民芸術館	800

V スポーツコミッション事業

1 プロデュース事業

スポーツ大会等の企画運営を行います。

(1) ウオーキング

「スポーツツーリズム＝市外からの誘客」と「健康寿命延伸都市・松本の創造＝市民の健康増進」を目的とした2日間のウオーキングイベントを春と秋に開催します。

4/18~19	信州松本 梓川・桜ウオーク	主催：松本市、松本観光コンベンション協会 共催：読売新聞松本支局、市民タイムス、テレビ信州	1,000名
11/7~8	松本城ウオーク	主催：松本市、松本観光コンベンション協会、信濃毎日新聞社、「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会	1,200名

2 サポート事業

スポーツ大会等の開催支援及び市外並びに海外からの誘客を行います。

4/25～26	桜のアルプスあづみの センチュリーライド 2020	主催：実行委員会（当協会も参画）	1,200名
5/23～24	緑のアルプスあづみの センチュリーライド 2020	主催：実行委員会（当協会も参画）	1,800名
6/28	【松本ヒルクライム】 ツール・ド・美ヶ原高原 自転車レース大会	主催：実行委員会（当協会も参画）	2,500名
8/30	【松本ヒルクライム】 乗鞍ヒルクライム	主催：実行委員会（当協会も参画）	4,500名
10/04	第4回松本マラソン	主催：実行委員会（当協会も参画）	10,000名
10/25	米かつぎマラソン in 信州 松本・虚空蔵山 2020	主催：四賀観光協会	200名
3/20	春の松本ランニング フェスティバル 2021	主催：実行委員会（当協会は後援）	3,000名

3 プロモート事業

スポーツ競技団体、関係団体等への営業活動を行い、スポーツ大会・イベントを誘致します。また、海外誘客と連携してランニングイベントやスキーツアー、サイクリングツアー等の誘致に取り組みます。

VI ロケ誘致支援事業

1 誘致事業

- (1) 映画、テレビのロケーション撮影を誘致するため、首都圏の映画会社、テレビ局、制作会社などにロケ情報のDMを発送するなど、営業活動を強化します。
- (2) 制作担当者・ロケを支援してもらえる方を対象とした「MATSUMOTO Location Guide」のホームページを更新し、最新の情報を提供します。

2 支援事業

- (1) イメージに合うロケ地の情報提供
- (2) ロケーションハンティング（撮影の候補地選び）の案内
- (3) 撮影に必要な許可申請の代行
- (4) 撮影する施設の紹介や借用交渉
- (5) 宿泊施設や関連事業者の紹介
- (6) エキストラ確保の協力等

3 JFC（ジャパンフィルムコミッション）関連事業

- (1) 制作会社対象のロケ地フェアへの参加（2021年1月開催予定）
- (2) 定期総会への参加（2020年6月 長野県内開催予定）

4 その他事業

- (1) ロケ地マップの制作による誘客の促進
- (2) 信州フィルムコミッションネットワークへの参加（年2回の会議予定）
- (3) 近隣フィルムコミッションとの連携（安曇野市・塩尻市等）
- (4) ホームページ、SNS等による撮影支援した作品等の情報発信

VII 収益事業

1 観光案内所における宿泊斡旋

観光案内所利用者へのサービスの向上を図るとともに、協会の収益を生み出す運営体質への移行を進めるため、市観光案内所（2カ所）で宿泊斡旋やタクシー観光の予約斡旋サービスを行います。

2 物品等販売事業

観光案内所窓口等で、観光客のニーズに合ったオリジナルのグッズやガイドブック等を取り扱い、利用者サービスの向上に努めます。

VIII その他事業

1 情報発信に関する事業

- (1) 令和元年度に引き続き、協会ホームページの一部をリニューアルし、見やすく、情報を取得しやすいページとします。
- (2) 協会が発行する観光パンフレット類を電子パンフレット化し公開します。

2 他団体との連携

- (1) 市内外で開催されるイベントへの協賛、後援、協力を行います。
- (2) 加盟団体と連携し、積極的な誘客宣伝活動を行います。
- (3) 国、県及び長野県観光機構、銀座NAGANO、長野県観光情報センター、ながの観光コンベンションビューロー等と協力して誘客宣伝に努めます。
- (4) 松本市や当協会が所属する広域観光団体との連携を図ります。
- (5) 三才山トンネル有料道路が、令和2年9月1日から一般道路化（無料化）されることから、（一社）上田観光協会等と相互誘客に向けた連携を進めます。

3 クレーム対応及び情報の共有化

松本市の観光全般に対するクレームや要望に積極的に対応し、改善に努めるとともに、会員の皆様と情報を共有し観光受入体制のレベルアップを図ります。